



会報

# やまぐち

No. 44

平成元年

11月発行

中国ブロック協議会  
萩史跡めぐり

山口県土地家屋調査士会

## 第32回中国ブロック協議会定例総会開催

場所 島根県玉造温泉



第32回土地家屋調査士会中国ブロック協議会定例総会が、9月7日(休)、8日(休)の2日間、島根県八束郡玉湯町玉造温泉に於いて開催されました。

今回は島根会の担当にて会場の設営及び会議運営が行われ、原中国管区局長、三浦日調運会長等の来賓者、そして各会構成員、オブザーバーを含め多数の出席がありました。山口会からも新本会長以下構成員5名、オブザーバー2名が参加しました。

議事は1日目会務報告から始まり、決算報告、次年度事業計画案、予算案と進み、2日目の協議会では報酬問題等の熱心な討論が交わされ、山口会からも補助者対策についての問題が出されるなど盛況のうちに協議会が終了いたしました。

尚、1日目に行なわれました広島法務局長表彰、及び中国ブロック協議会表彰には下記の方が受賞されました。おめでとうございます。

### 表彰おめでとうございます

#### 広島法務局長受賞者

中原 範雄 先生  
小林 章 先生

#### 中国ブロック協議会表彰受賞者

溝口 要 先生  
小嶋 慎一郎 先生  
松田 昌祐 先生  
小倉 六治 先生  
弘田 達明 先生

## 日調連理事会に出席して

会長 新本 清人

中国ブロック会長会議にて御推挙を頂き日本土地家屋調査士会連合会の理事として御勤めすることとなった私、全国から御集りの理事定数21名の内の一人としてシャシャリ出でました。誇り高き御役目柄身の引き締る様な心境でその責務の重大なることを認識して東京の連合会会議室に臨んだのは平成元年7月4日のことである。全国各単位会から御出席の役員各位の面々凛々しく逞しい若い調査士の象徴の如き紳士ばかり御集りのメンバーの中 $\frac{1}{3}$ 位は面識ある方々であるが初対面のメンバーとの名刺交換を終え、定刻開会宣言に続き新しく就任された三浦福好会長の挨拶、施政方針の披歴就中役員各位は改めて指示される持場持場に自己の能力を最大限に発揮しその努力を要望するとの提言があり業務の経過報告に続き各々理事の持場である部会編成の発表となる。総務部・経理部・企画部・広報部・厚生部、公共事業部の6つの部に業務分担の発表、細部についての説明がある。私は厚生部に所属し部長大下克信（東京）、次長三宅尚男（大阪）、私は理事として末席を汚すこととなる。厚生部の業務分野は巾広くして新たに設けられるであろう国民年金基金法の研究自家共済、各種保険制度の研究と加入等の課題に取り組む訳であるが、勉強不十分の自分を省み努力の程や大きく望まれる処である。特に損害賠償保険の連合会扱いへ加入の斡旋と事故処理委員会の設置等、運

営に関する諸問題等、当面取組むべき業務と分担の指示を頂戴する。私の前任者である当山口会の名誉会長である三好敏夫先生が直前連合会の厚生部長の要職を経験して居られるから新本理事は充分御指導を受ける様にと三浦会長よりハッパをかけられて居るが仲々一朝一夕に飲み込みの出来ぬ自己を省みつつ模索することやしばしの今日此頃である。8月21日理事会、9月27日厚生部会、有限会社桐栄サービスの幹事会10月26～27日からの全国会長会議（岩手県）と、一ヶ月平均1回は東京へ出向する様な都合である。新米一年理事の前途は今イチの努力が望まれている。

先づ私に与えられた業務分担として、1連合会の行う自家共済規約10条の規定に基く廃業一時金の支給割合の変更と、これに伴う19条の会費月額金350円を金500円に改めること、これが実施期日を平成3年4月1日からとするから平成2年度の各単位会総会にて承認決議を経ておくこと。加人口数については2口加入を努力目標としたい。次に賠償責任保険の連合会扱いの直接加入の推進であり現行山口県会の取扱っている大正海上火災の当地方支店との契約を今後如何様に展開し連合会扱いでつなぐかの問題等を模策する毎日である。微力乍ら任期中一杯最善の努力を傾注したいと覚悟しての毎日である。地元山口会会員各位の心からなる御力添えを期待し御願いたい心境である。



# 私の履歴書から

萩支部 竹内重信

萩雑草の会と称するグループに入っている。会としての目的は持たず、会員のそれぞれが、雑草の如く、自由にのびのびと、踏まれても踏まれても芽を出し、強く生きぬくこと。

人の恩恵ばかりに頼らず、自分の方から尽くす心をもつこと。

等をテーマとして、必ず毎月9日を例会日と定め、意見の交換等を行いながら自己研鑽をしている。

会員の年齢も、30才～70才台と幅広く人数は約25名、昨年11月に満20周年記念の祝賀会を行った。

以下は私の経ている萩雑草の会の記述である。

(入会するとき)

私が萩雑草の会に入ったのは昭和53年、友人(会員)のH君の話に始まる。

「オイお前。雑草の会に入れ」、「何だ、雑草の会とは?」「おもしろい会だ、色々口喧しい者が集っていて、言いたい放題を喋る、他のどこの会にも入れてもらえないような一匹狼の集団だ」「成る程、お前が入っているから頷ける。何人いるんだ?」「20人位だ」「会の目的は何だ?」「そんなものがあるか、おたがいの話の中で意見を聞きながら自分を切磋琢磨する。己が強くなればそれでよい。それがテーマだ」「こまごました制約があるのか?」「いちいち問うな!」

こんな問答があって翌月、N君H君の推薦を受け入会する事になった。

(入会初夜のこと)

夕刻、女房に「萩雑草の会に行ってく

る」「雑草の会って何?」「H君に誘われた、2～3時間で帰ってくる。」

ある料理店での集会であった。入会のあいさつ、3分間スピーチ、情報交換、そして懇談、酒が弾ずんで午後9時閉会した。直後会員のS氏に呼ばれた。

「お前は今日俺とつきあえ!」初対面の事でもあり不安もあったが、S氏の図太い迫力ある声についおされて、素直に「ハイ!」多少酒に酔っていたS氏は強引に私をタクシーに乗せ、運転手下関行を命じた。とんでもない事になったと思ったが後の始末、途中何度も明日の事もありおろしてほしいと頼んだけど問答無用。家では私の帰りを待って心配しているだろうに……

下関につき駅前繁華街で又一杯二杯と続き午前2時頃、S氏の馴染みの家に行く。しばらく話した後S氏曰く、

「俺は今日このまま泊まる。お前は萩に帰れ!」外は小雨、無情な街灯りにひとしお侘しさを覚えた。

タクシーを拾い一途萩へ。午前6時30分帰宅した。

雑草人は強くあれ!女房にも弱音を吐くなと誰れかが言っていた。

玄関をあけるなり「オイ!今帰ったぞ、タクシー代を払っておけ」そしてもう一言つけ加えて「これが雑草人よ。おぼえておけ!」

この日を限りに、女房は私から一步遠ざかっていった。萩雑草の会入会初夜の出来ごとであった。

(それから)

入会当時は私も40才そこそこ、世間

しらずの言葉の端々で、多くの人と意見の衝突も多かった。以来重ねる会合の中で、人それぞれのひときわ強い個性に接し、今日まで10余年、魅力を失なわず今日に到っている。

「流転極まりない人生の最中に立って、境遇の如何に支配されることなく、自己の超ずる道をまっすぐに歩んで行くには、強き強き信念がなくてはならない……」

私が学生時代、弁論大会に出場した時の冒頭の言葉である。

(そして現在)

本気ですれば 大概の事は出来る。

本気ですれば 面白い。

本気でしていると誰かが助けてくれる。

数日前、女房が受講したある経営研究所の講師が語った言葉の受け売りである。

近頃は少し仕事にも馴れ、人との付き合いにもわがままがでたり、横着な態度がでたりしているのであろう。この本気という言葉が胸に重く感じる。

叱責半分、煽動半分、良い経営者になりなさいとばかり、妻の受け売り言葉が続く。

「クダラナイ経営者には、クダラナイ従業員が集り、クダラナイ従業員には、クダラナイ客がつく」

(事務所の不況は 自分が主役)

色々と考えさせられる事ばかりである。あたりまえの事があたり前に出来ない。全てにまだまだ修業不足であると痛感する。

平成元年、記念すべき元号変りのこの年、もう一振り人生に弾みをかけたい。

## 四国ブロック協議会定時総会に参加して

去る9月9日、10日と四国ブロック協議会の定時総会が開催され、アトラクションとして、早稲田大学法学部教授の藤田薫氏の講話と、四国ブロック各単位会及び岡山会場、広島会山口会連合の計6チームによる親睦ソフトボール大会がありました。

瀬戸大橋の開通により、本州四国は一体という所から、昨年度から岡山会・広

島会とは交流を図っており、今年山口会にも参加要請があったものです。山口会から7名が、講演にそしてソフトボールに参加しました。折りしも四国愛媛会とは因幡点、法第17条地図の事など本会との交流も深まっております。今後にもより良き親睦の仲間としてお付き合いして行きたいと考えております。

広報部



写真は、親睦ソフトボールに参加した広島山口連合チーム(成績は0勝3敗で最下位でした)。

支部だより（岩国支部）

## 羅漢山に登って

岩国支部 大森正秀

10月14日（土）から15日（日）にかけて、岩国支部では玖珂郡瀬田深川雙津橋温泉郷「緑グリーンパレス」で研修会を行ないました。

当日の午後からは横田年一朗支部長による「表示登記に関する税」の題目でテキストによる勉強会を行ない、その後公願協会岩国支所長、同本連会員の事件配分等の説明を聞きました。

その夜は新本会長を交えての夕食会で、大いに飲み、食い、語り、出席会員24名の親睦を深めることが出来ました。

次の日は爽やかな秋日の中を全員「緑グリーンパレス」を出発し、冬にな



れば多数のスキー客で賑う「羅漢山ハイランドロッジ」のそばを通り抜けると、本郷村側からの登山口に到着しました。多くの若者で賑う人工スキー場のそばを通り、約30分間美しい登山道を登ると、多くの夫婦、親子づれに出会い、皆、見

知らぬ同志が「今日は」とあいさつを交わし、登山する人のマナーの良さ、明るさに驚かされました。

それからなだらかな山道を約10分間歩くと、山頂に着きました。

1491mの山頂には二等三角点が広島県佐伯町と山口県本郷村の県境に埋設され、また近くには雨量観測用のレーダーも座っていました。

山頂は広く開け、360度の大パノラマは山口県、広島県、島根県の県境に連なる山々が見渡せ、遠く四国の名峰石鎚山連峰が雲の上に展望でき、風光明媚な瀬戸内海国立公園の島々が、あたかも老練な庭師の手によって造られた日本庭園のように、素晴らしい眺望を提供してくれました。

仕事柄、自由業と云いながらも、一定の決った収入の保証もない不安感、対人的な緊張感、仕事にかせられた重度な責任感などで、うっせしたストレスを一気にリフレッシュしてくれた様で、このままいつまでも座って眺めていたい気分でした。

名カメラマン新本会長に記念撮影をしてもらった後、全員ゆっくりと下山しました。地元案内役の河村謙一会員、企画委員諸兄、特に補井会員には宿泊、研修の全てにわたり、お世話をかけ、本当に御苦労様でした。

研 究 報 告

## 企画合同委員会に参加して

広報部長 田 中 拓 朗

さる7月22日(土)、23日(日)の2日にかけて本部企画委員会の主催する、支部企画委員と本部担当役員との合同委員会が開催され、参加してまいりました。

例年この委員会は役員就任後、年を越してからの行事となっておりますが、今年は技術交流及び情報交換と、そしてなにより親睦の意味を重視して、改選後すぐに宿泊を兼ね行なわれるという本部役員さんのユニークな企画により、行なわれたようです。

場所は、山口市湯田温泉の山口県婦人教育文化会館にて行なわれ、まず1日目は各支部研修会の前年度及び今年度の計画が報告され、次に岩国支部の浦井会員



による完成された割量計算ソフトを使ったポケットコンピュータの有効利用についていろいろな裏話も含めての説明がありました。1日目の議事終了後懇親会



が開かれましたが、その後各部屋にて夜遅くまでコンピューター談義が交わされました。

2日目は、下関支部の無敵会員及び同事務所の竹下さんから事務所内の大変興味あるコンピューターの業務処理についての報告をお聞きしました。無敵事務所ではNECのコンピューターをベースにコンピューター市場で人気のある多数のソフトを一本化して、申請書作成、表集計、顧客管理等に実に効率良く使用されています。説明を聞いていますと、各ソフトをもっと融合させて、オールマイティな調査士用専用ソフトができるのもそう遠い話ではないなと思いました。

竹下さんの説明終了後の質問コーナーでは、多数の意見が出され、とても有意義な2日間の企画合同委員会でした。

## 史跡探訪

## “萩”

三好一敏

厚生部行事としてすっかり定着した、史跡探訪の7巡目は、維新の地、萩である。県内各地から73名が、萩の1日を楽しんでいただいた。

午前10時、萩では最も観光客の多い萩城入口が集合場所である。マイカーでの参加者が続々到着する。しかし多くの人達は、小郡駅発のJR観光バスと、下関発のマイクロボスである。全員が揃ったのは、予定時間を20分過ぎていた。



バスから降り立った会員、家族は、1歳児から、70歳代後半の会員まで、まさにバラエティにとんでいた。今日1日ガイド役をつとめていただく萩史料館館長三浦久先生を紹介した後、毛利家墓所車光寺へとバスは向った。

三浦先生の説明は当人も言っておられ

たが、マイクが不用である。地声が大きいからだ。30数年前まで、小学校教師として大きな声で子供達を指導しておられたことがよくうかがえる。我副会長の竹内先生も教え子の1人とうかがった。説明は専門的で、地元の私も初めて知ることが数々あった。熱心な説明を聞いていると、300年前の武士の時代にタイムスリットするのではないかという錯覚を感じる。

車光寺を後にし、松陰神社にバスは入ろうとするが、観光シーズンの最盛期のため、駐車場はバスの大群で入れない。路上に止ったバスから降り、歩いて神社内に向う。吉田松陰を祀る松陰神社、尊王攘夷の立役者達が学んだ松下村塾等を見学し、遠い明治の頃に思いを馳せたものである。

昼食は、萩城跡近くで、全員揃っての会食である。午前中の予定時間が遅れていたため、あまりゆっくりはできなかったが、楽しい一時でもあった。

萩の街は例年11月の第2土・日に、近隣町村が一体となった北前ふるさと祭りを描しているが、今年はその祭りの真際中に、この史跡探訪が入りこんだことになる。この祭りのハイライトは大名行列である。この大名行列の出発時間に照準を合わせたのであるが、交通渋滞に巻き込まれ、祭りのメイン会場に着いたのは大名行列が出発する直前であった。千度「草履舞い」の踊りが行なわれていた。広場には近隣町村から、おらが村の特産



品、野菜、果物、海産物等の即売所のテントが並び、普段見慣れた露店のあるお祭りとは、ちょっと変わった趣きがあった。集合時間が近づくと、我史跡探訪ツアー一行様も、それぞれ大きな荷物をさげてバスに帰ってきた。花あり、白菜あり、魚の煮干しありで、バスの中は種々雑多な香りが漂ったのである。1時間半の自由行動を迷子も出さずに全員がバスに戻り、最後の目的地は今朝集合場所となった萩城趾見物である。

萩城趾、明治初年迄は天守閣もあったそうだが、解体して今は城趾のみを残している。萩でも最も代表的な観光名勝である。この入口には入場料をとるゲートがある。東光寺もそうであったが、萩市民は無料である。市民優待券が各家庭に配られているが、私はその券を使ったことがない。免許証で代用がきくからだ。しかし今回参加した萩市内会員は、誰もその入場料分についての史跡探訪参加費を確切らなかつた。調査士報酬はダンピングしないという精神の表れであろう。

萩城趾も松喰虫による松の枯死が多く、近年景観が変わってきたように感じる。

今日最後の見学所は、今日のガイド三浦先生が館長をしておられる萩史料館である。主に明治時代の史料を陳列展示しており、個人でここまで収集されたことに敬意を表したものである。三浦先生の大きな声が館内一杯にひびき、歩き通しで疲れていた筈であるが、皆熱心に聞き惚れていた。

一日大変お世話になった三浦先生に別れを告げ、午後4時1台目のバスが小郡に帰って帰って行った。萩の者にとってはおもっともっと多くの史跡を見せてあげ

たかったと悔やまれるが、参加者はきっと「もっと楽に廻れんかのう」の気持ちであったことと存じます。萩の街は自転車で回ると又違った趣きを感じる筈です。次回は是非自転車探訪を企画したいものです。

2台目のバスは、希望者による萩焼作りへの挑戦である。10数人が、この世に二つとない自分だけの器を、作品と呼ぶにはほど近い感じがするも、自称陶芸家



となって、しばし土とたわむれ、我を忘れた一時であった。1ヶ月後に焼き物となって手元に届くのである。よと子供の頃、稲刈りをする田んぼで、土をまるめ団子を作ったり、器を作ったりした時代を思い出し、なつかしい郷愁を覚えたのである。最後のバスを送り出した時はすでにあたりは薄暗くなりかけていた。今日の日のために早くから準備をし、コースの設定、昼食会場、ガイドブック、ガイドの先生の手配等、色々な心くばりをして貰った萩支部長、上村先生に感謝しながら、家路へ急いだ。

## 報酬改訂による本部研修会開催

平成元年9月2日  
於 小郡町山口グランドホテル

平成元年9月2日、本部主催の報酬に関する研修会が開催されました。

当日はまず本部企画課の山本副部長により、平成元年7月1日より実施された報酬額運用基準の説明がなされ、続いて高田副会長による報酬額算出の計算例の説明が本部企画課作成の明細書とともに行われました。

高田副会長ほか各企画委員さんは、7月1日の報酬額改訂後、日進連の報酬額説明会に参加され

た後、更に短い準備期間に、大量の資料を作成され、速やかに研修会が行われたことは、大変な苦労だったと思います。そのせいか、研修日には多数の参加者があり、説明後の討議も活発にされました。

今回作成された報酬額明細書は、色々な工夫が盛り込まれ、大変使い勝手が良いものとなっております。企画委員さん、ご苦労さまでした。



信頼をお届けします

# UBEX

株式会社ウベックス

本 社 電話番号(0836) 21-1147  
下関営業所 田下岡(0832) 22-0113  
山口営業所 田山口(0838) 23-0380

FUJI XEROX

取扱商品

- 複写機(ゼロックス)
- ワークステーション
- ファクシミリ●ワープロ
- パーソナルコンピューター
- オーバーヘッドプロジェクター
- その他OA関連商品

宇部営業所 電話番号(0836) 21-1147  
防府営業所 荏防府(8835) 21-7771  
萩営業所 電話(08382) 6-0431

## 平成元年度司調共催囲碁大会

於 司 調 会 館

8月27日(日)恒例の囲碁大会が開催された。同好の士の参加者13名。方尺5寸の天地に熱戦を展開し、酒開の一日であった。

なお参加者と戦績は次の通り。

優勝	石村 慶吾(1級)	4勝1敗
2位	兼重 直彦(3段)	4勝1敗
3位	石田 豊(2段)	4勝1敗
4位	鉄穴 昌克(初段)	3勝2敗
5位	三好 敏夫(2段)	3勝2敗



長田 幸三(1級)	3勝2敗
渡辺 眞洲生(3段)	3勝2敗
橋坂 守(5段)	2勝3敗
小嶋 祐男(3段)	2勝3敗
渡辺 展行(2級)	2勝3敗



白井 栄一(3段)	1勝4敗
中田 武(初段)	1勝4敗
安本 健一(2級)	1勝4敗

# 平成元年度の 公嘱事業について

社団法人山口県公嘱託登記  
土地家屋調査士協会

専務理事 白井栄一

## 1. はじめに

昭和から平成に年号が改まり、内平らにして外成るの希望に満ちた21世紀の到来を念願しておりますが恰も、本年は時代の転換を象徴するような大きい出来事が次々に発生しました。

政治面ではリクルート・消費税・参院選の社会党進出・宇野～海部内閣の交替・パチンコ疑惑と推移しました。また、経済面では好調な企業収益・円安基調・金融引き締め・貿易摩擦の激化・日米構造協議と続きましたが経済大国ニッポンの優位性は当分の間揺るぎそうにありません。そのほかオバタリアンの台頭・セクシャル、ハラメント・美空ひばり逝去・巨人軍優勝等の社会現象がありましたが、これ等は番外編といえましょう。

国際的には社会主義諸国の変貌に瞠目されます。ゴルバチョフ書記長のペレストロイカ(たて直し)政策に端を発し、バルト三国の反乱・東欧諸国の民主化要求・天安門事件・ニセ難民・ベルリンの壁消滅と想像もできなかったことが連鎖的に起りました。

これからの世界は一体どうなるのでしょうか。神ならぬ身の全く予測はできませんが新しい時代の黎明が訪れようとしていることは確実のようです。

以上のさまざまな出来事は公嘱事業にとって直接関係がないようですが、私どもは世間に密着しながら社会の仕組の中で普遍的立法に従って仕事を行っておりますので日頃から時代認識を養っておく

ことに損はないと考えます。

## 2. 事業の概況

公嘱事業は協会設立から第5事業年度に入りました。協会の運営も事業量の増加に伴って漸く軌道に乗ってきた感があります。

10月末現在の社員数は表1「支所別社員状況表」のとおり133名になりましたので本会会員260名のうち約半数の有志の方がご加入になっております。

また、実績は表2「発注機関別事業概況表」のとおり現時点で総受託高は1億5,100万円となり、早々と当初計画1億5,000万円の目標突破を果たしました。

実績で特筆すべきことは、JR関連が大宗を占めていることで受託高は1億3,600万円となって全体の90%に相当しております。本年の業務活動はJRに始まりJRに終るような趣がありますが目下、担当社員は受託業務完了を目指し総力を結集して活動を展開中です。



引続いて、2月末までに法務局発注の法17条地図作製に替る基準点設置作業が徳山市で実施されます。そのほか、住宅供給公社・建設省からの継続的事件や

山口市・小郡町・秋穂町等からのまとまった事件の発注が予定されておりますので実績はさらに拡大する見通しにあります。

思うに、今日の協会の発展には公嘱制度委員会当時から、長い茨の道を根気強く開拓されてきた先達各位のご尽力に負うところ大なるものがあり、あらためて感謝申しあげたいと存じます。

### 3. 課題と改善事項

9月25日、新執行体制による総務・経理・業務各担当部会を開催し、懸案となっている次の課題等について研究、検討を行いました。

- (1) 安定的事業基盤の確保
- (2) 業務処理体制の確立
- (3) 諸規則の整備、事務の合理化

(1)については支所・社員間の業務量の偏在を解消することやJ R業務終了後の安定的業務を確保するために県、市町村との基本契約締結に向けて開発活動を強化することになりました。

(2)について、懸案の配分問題は原則を順守することとし、その方法論については実態を考慮した運用を行うよう業務処理規則の改正を考えております。また、処理体制については支所ごとに支所長を中心とした指導・助言・研修・連絡等のルール化を図りたいと思います。

(3)について、諸規則の整備に取り組むこととし、公益法人会計基準に拠った経理規程を設定します。また、若干、旧態依然とした事務処理が見られますので改善することにします。

### 4. 仕事は本気で楽しく生き活きと

早いもので協会にお世話になって7か月が過ぎました。場違いの門外漢のため不明なことが多く、諸先生に大変ご迷惑をお掛けしたことと恐縮しております。公嘱の先生方は若くて、気のイイ者が多いから……とお聞きしておりましたが結構な雰囲気の中で楽しく仕事をさせていただいております。

お蔭で旅行・碁・将棋を通じて仲間ができましたし、カラオケ・酒・女(?)と付き合いが拡がりました。そのうちマージャン(真打)・ゴルフ(前座)にも参加させてください。

これからも仕事は本気で楽しく生き活きとをモットーに頑張りますのでどうぞよろしく。(H. 1. 11. 15記)

表1 支所別社員状況表 H.L 10.31現在

支所	岩国	徳山	防府	山口	萩	宇部	下関	合計
人数	32	26	17	21	13	9	15	133

表2 発注機関別事業概況表

発注機関	受託金額	占率	摘要
山口地方法律局	3,334	2.2	基準点設置作業
県、市町村	2,092	1.4	県土木、徳山市
公社、公団等	8,289	5.5	住宅供給公社 土地開発公社 地域整備公団
日本テレコム	97	0.1	
J R 西日本	112,319	74.3	
J R 貨物	24,336	16.1	
社員自主開発	720	0.4	岩国・徳山・ 下関支所
合計	151,187	100.0	

# 全国会長会議雑感

副会長 乗川良介

去る10月26日～27日の両日、道  
奥岩手県花巻温泉において、平成元年度  
全国会長会議が開催された。新本会長が、  
日調連理事であるので、小生会長代理で  
出席しました。

東京は度々出向いているので、比較的  
遠隔感はないが、さすが岩手県は遠く感  
じた。

さて本題の会議の内容であるが、メイ  
ンテーマが「平成時代の調査士像を考  
える」と題してのパネルディスカッション  
方式で進行され、サブテーマに①地図整  
備と調査士のかかわりについて、②会員  
指導のあり方について、③会員研修のあ  
り方について、の三題についてパネラー  
の意見発表の後討論がなされた。

メインテーマの中で特に注目すべきこ  
とは、日調連の土地家屋調査士制度研究  
委員会において、研究を重ねられ、日調  
連に答申された一つに、調査士会に「境  
界鑑定委員会」(仮称)を創設し、筆界  
の定義を明確にし、併せて調査士が取扱う  
境界確認業務を、社会的に容認される様

理論付ける機関を創設、制度化の上設立  
するとされた。具体的答申内容は紙上省  
略し、理事会その他の会議で折りにふれ  
報告させて載くとして、21世紀に向う  
土地家屋調査士業務として大きな動きで  
あろうかと思えます。

サブテーマ三題もこのメインテーマに  
沿い法17条地図と調査士のかかわりを  
大切にするために、今後の地図作りは、  
現地指示機能と現地復元機能を兼ね備え  
た地図整備を考え、来るべき登記簿コン  
ピュータ化に対応する。法務省民事局長  
から本年1月31日付民3、第178号を  
もって示された「地図整備の具体的推進  
方策に沿って、受託報酬の適正化を計り  
ながら積極的に協力して行かなければな  
りません。

目的達成のために、帰属意識の昂揚と、  
技術水準の一定化を計る会員指導、研修  
を重ねなければならないと結ばれた。平  
成年間を迎え、お互に新しい時代にふさ  
わしい調査士像を考えて参りましょう。

## 調査士業務の受託確認について

編集委員長 原 田 美三男

会員は業務の受託に当っては本人又は代理人の  
いづれであるのかを確認するものとして、代理人  
については本人との関係及び代理権の有無を確認  
し委任状に署名捺印させるべきであります。

会員が業務を適正に保持されている面につきま  
しては、皆さんは適正にやっておられると思いま  
すけれども、一部の会員におかれましては不適正  
なものも見受けられますので土地家屋調査士会  
員が常に法令を遵守して業務に精通し適正にその業  
務を行い、また品位の保持という面につきまして  
は、これは対社会的な面でも品位の保持について  
土地家屋調査士としては社会的に非常に重要な職  
責を担っているという自覚を持って、業務上はも  
ちろん業務外にあっても品位の保持に努めるべ  
きと思えます。

土地家屋調査士制度というものの、公共的な性

格がありますので、公正・誠実に業務を行なわ  
なければならないことは観念的にはっきりしている  
わけですが、具体的にそれをどういうプロ  
セスで実現していくかということがより重要なこ  
とでありますから、会員が容易に認識をされるこ  
とが必要であります。

最近私ども耳に頻々として届く問題としては事  
件の不当誘致の問題であります。土地家屋調査士  
相互間の問題として、事件の不当誘致という問題  
が特にクローズアップされている背景には、事件  
減少傾向が影響していることも考えられるよう  
なことになります。会員相互の融和と団結がな  
くなくなることにもなりかねますので、事故が起きない  
ように注意して業務に精通されることをお願いす  
る次第であります。

### SOKKISHAの測量機械

エレクトロニック  
トータルステーション

(株) 測機舎の直轄販売会社



測量機械・コンピューターシステム機器  
測量用品の販売  
測量機械の完全修理及びレンタル

### 中国測機舎販売部

徳山支店 徳山市城ヶ丘2丁目1番35号  
〒745 Ⅱ 0834 (28) 6898 FAX 0834 (28) 6870

本 社 広島市西区己斐本町2丁目16番10号  
〒733 Ⅱ 082 (272) 3600 FAX 082 (272) 3645



SETシリーズ

## 事務局だより

### 会 務 報 告

8月 3日(木)	中国ブロック会長会・監査会
4日(金)	
9日(水)	企画部会
11日(金)	会館運営委員会
22日(火)	総務部会
27日(日)	司調共催囲碁大会
30日(水)	企画部会
9月 2日(土)	本部研修会
7日(木)	中国ブロック協議会総会
8日(金)	
9日(土)	四国ブロック //
10日(日)	
14日(木)	自主支部長会
15日(金)	
18～30日	証紙等点検調査
10月 9日(月)	企画部会
13日(金)	法司調三者協議会
24日(火)	監査会
26日(木)	全国会長会議
27日(金)	
11月 6日(月)	中国ブロック・会長会
12日(日)	萩史跡めぐり
29日(水)	広報部会
30日(木)	総務部会

### 会 員 異 動 状 況

#### 1. 会員入脱会状況

支部	氏名	年月日	入脱会
萩	伊藤正典	元10. 2	入会
		長門市仙崎1104番地の2	
宇部	岡野治夫	元 7. 31	廃業
徳山	藤井奈保子	元 8. 15	"
岩国	西浦邦夫	元10. 11	広島会移籍

#### 2. 事務所変更他

支部	氏名	変更事由	年月日
岩国	平井敏生	本籍変更	56. 4. 24
		大島郡東和町大字和田260番地の5	
	平井敏生	住所変更	58. 5. 20
		大島郡久賀町大字久賀4,157番地の1	
	平井敏生	事務所変更	元 6. 15
		大島郡大島町大字小松1,774番地	
徳山	西本聡士	住所変更	元 8. 28
		光市光井9丁目13番10号	
	福岡万作	事務所変更	元 8. 28
		光市中央5丁目2番1号	
	高木健守	事務所変更	元 8. 28
		光市中央1丁目15番5号	

### 事務局の年末年始の 業務について

年末年始における事務局は、下記日程により行われますので、お知らせします。

記

- 年末 12月28日(木) 仕事納め(正午まで)
- 年始 1月4日(木) 仕事始め(正午まで)





## 部会よりのお知らせ

### ・経理部

#### 会費納入状況の調査について

会費の納入については会則の定めにより、1～6月分は4月末日までに、7～9月分は7月末日までに、10～12月分は10月末日までに前納することとなっております(会則第74条、同別紙第一)。

ところで、その実情について先の監査会において調査がございましたので、その調査結果を下記の通り発表いたします。

款 目	(所定の期日までに納入された会員数)	%
1. 1～6月分会費	107名	41.1
2. 7～9月分会費	167名	64.2
3. 10～12月分会費	154名	58.2

ご承知の通り調査士会運営の経費は会費以外にはありませんので、上記数値が顕著に改善されるようご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ・広報部

今回の会報は号は、新体制になってから2回目の発行になりますが、原稿をお届いた先生方がちょうど10月11日と12日のお仕事で忙がしく、なかなか発行までバタバタしてしまいました。これからも原稿のご依頼を、指定期間でどんどん押し進めてまいりますので、よろしくお願いたします。

又、来年は土地家屋調査士法施行40周年となります。いろいろな記念行事も企画されると思いますので皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。



リコーのイメージの情報処理技術が明日の統合のシステムを表現します。

## 技術と サポート力で お役立ちの IRICOH

お問い合わせ

山口リコー㈱ 0636(27)4530  
0636(27)4440

リコーテクノネット㈱ 0636(23)2477

QAテレフォンセンター WP 082(246)1268  
パソコン 082(248)3217

ご用命は…

- 本 社 徳島県三好市山田町山田 1-1  
〒745 ☎0832(21)11220
- O.A.プラザ徳山 徳島市東区徳山 3-4-31  
〒740 ☎0831(21)6749
- 藤井 徳島市 藤井 徳島市 6-10-5  
〒742 ☎0822(25)2327
- 山口 徳島市 山口 徳島市 2-9-20  
〒753-02 ☎0826(22)4450
- 前野 徳島市 前野 徳島市 2-4-40  
〒753-01 ☎0826(27)4440
- 藤原 徳島市 藤原 徳島市 3-7-1-1  
〒758 ☎0822(15)9572
- 宇津野 徳島市 宇津野 徳島市 3-1-33  
〒753 ☎0831(21)0117
- 土橋 徳島市 土橋 徳島市 2-15-11  
〒754 ☎0822(46)0002

## 目 次

中国ブロック協議会 定例総会開催	2
日調連理事会に出席して	3
私の履歴書から	4
岩国支部だより (羅漢山に登って)	6
企画合同委員会に 参加して	7
萩史跡めぐり	8
本部研修だより	10
囲碁大会	11
公調協会だより	12
全国会長会議雑感	14
調査士業務の 受託確認について	15
事務局だより	16
部会よりのお知らせ	17

発 行 山口県土地家屋調査士会

山口市駅通り2丁目9番15号

電 話 (0839) 22 - 5975

F A X (0839) 25 - 8552

振 替 下関 9 - 11085

発行所 山口県土地家屋調査士会

会 長 新本清人

広報担当副会長 竹内重信

広 報 部 長 田中拓朗

部 員 鶴巻栄一

＊ 野上茂樹

＊ 河村誠一

印刷所 桜プリント企業組合

山口市旭通り1-6

電 話 (0839) 22 - 1712

### 表紙のことは

—— 総町無形文化財「沼田神楽」 ——

上沼田神楽保存会による「八岐の大蛇」  
上沼田神楽の起こりは享保2年  
(1717年)以前と伝えられている。古  
人によると、3回スタイルを変えた現  
在のものが一般大衆の心をとらえ、今  
に引き継がれている。数ある神楽の中  
でも素朴な部類に入る。昭和56年10月  
1日に総町無形文化財に指定。

